

## 第1 審査結果

4つのテーマに対して応募のあった36事業について、事務局による資格審査の後、応募時点で公表している審査項目に基づき、「共働の必要性」を6割、「事業の実現性」を4割の比重で、書面による第1次審査、公開プレゼンテーション、第2次審査を行い、その後、提案団体と担当課の協議結果をもとに、最終審査・選考を行いました。

### 1 第1次審査結果

書面審査によって、次の18事業を選考しました。

テーマ	事業名	提案団体名
こども・教育	早良チルドレンズミュージアム（仮称）	西新チルドレンズミュージアム実行委員会
	フリースペース事業「ここりーと」	特定非営利活動法人九州大学こころとそだちの相談室
	少年科学文化会館の活性化	特定非営利活動法人イマジン
	プレーカーを活用した、遊びの環境づくり	福岡プレーパークの会
	子どもの職業観を育てよう～「職業ガイドブック」づくり事業	特定非営利活動法人男女・子育て環境改善研究所
	中高生の居場所づくり事業	特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡
	「脱“メディア漬け”で子どもの基礎力アップを」プログラムづくり事業	特定非営利活動法人子どもとメディア
	福岡の知恵と文化「ふるさと・ミュージアム」事業	特定非営利活動法人環境みらい塾
健康福祉・ライフスタイル	今を生きる一ひきこもり者と共に（社会参加支援事業）	特定非営利活動法人JACFA福岡「楠の会」
	道ばた会議のすすめ「地域と共働するライフスタイルをめざして」	特定非営利活動法人NPO博多まちづくり
	「健康づくり応援団（仮称）」プロジェクト	特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所
	仕事と家庭の調和で、企業のコスト削減	特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所

環境共生のまちづくり	かなたけの里公園を拠点としたまちづくり	特定非営利活動法人まちづくり支援機構 特定非営利活動法人環境文化プロジェクト機構
	博多港湾で遊ぼう・学ぼう・未来を作ろう	特定非営利活動法人九州キラキラみなとネットワーク
	志賀島歴史と自然のルートづくり事業	特定非営利活動法人グリーンシティ福岡
シティプロモーション	外国からの視察者コーディネート	特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター
	海外エイジング視察コーディネート事業	特定非営利活動法人アジアン・エイジング・ビジネスセンター
	外国人に対する日本的文化体験サービス提供事業	特定非営利活動法人デザイン都市・プロジェクト

※事業名は、テーマ別受付順で記載（以下同じ）

## 2 第2次審査結果

第1次審査を通過した18事業について、公開プレゼンテーションの後、次の8事業を選考しました。

テーマ	事業名	提案団体名
こども・教育	早良チルドレンズミュージアム（仮称）	西新チルドレンズミュージアム実行委員会
	フリースペース事業「ここりーと」	特定非営利活動法人九州大学こころとそだちの相談室
	「脱“メディア漬け”で子どもの基礎力アップを」プログラムづくり事業	特定非営利活動法人子どもとメディア
健康福祉・ライフスタイル	今を生きる一ひきこもり者と共に（社会参加支援事業）	特定非営利活動法人JACFA 福岡「楠の会」
	仕事と家庭の調和で、企業のコスト削減	特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所
環境共生のまちづくり	かなたけの里公園を拠点としたまちづくり	特定非営利活動法人まちづくり支援機構 特定非営利活動法人環境文化プロジェクト機構
	志賀島歴史と自然のルートづくり事業	特定非営利活動法人グリーンシティ福岡
シティプロモーション	海外エイジング視察コーディネート事業	特定非営利活動法人アジアン・エイジング・ビジネスセンター

### 3 最終審査（選定事業）

第2次審査を通過した8事業について、提案団体と担当課の協議の結果をもとに最終審査を行い、以下の7事業を21年度の共働事業候補として選定しました。

1

事業名	チルドレンズミュージアム	テーマ：こども・教育
提案団体	西新チルドレンズミュージアム実行委員会	
市担当課	こども未来局こども育成部こども育成課	
事業概要	『学校でも家庭でもない、こどもたちのもうひとつの居場所づくり』 子どもの健全な育成に資するために、暮らしのもっとも身近な地域社会のなかで、行政や大学、事業所や地域住民など、子どもを取り巻く様々な立場の人々の連携によって、子どもたちが五感を通したものづくりの楽しさや、科学や自然現象の不思議さを参加体験し、発見する機会を目的に、遊びと学びの場『チルドレンズミュージアム』を開催します。	
選定理由	独自性のある取り組みは、高く評価できます。地域との連携も積極的で、学校教育プログラムの総合学習との連携などについて、今後期待したいところです。さらに地域団体と連携を図ることで、一過性のイベントを越えた日常的な活動につなげていくことを期待します。	

2

事業名	「脱“メディア漬け”で子どもの基礎力アップを」プログラムづくり事業	テーマ：こども・教育
提案団体	特定非営利活動法人子どもとメディア	
市担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習課	
事業概要	今日懸念されている子ども達の体力や学力、自尊感情やコミュニケーションの力など、いわば人間としての基礎的な力の弱まりは、子ども期における過剰なメディア接触（メディア漬け）と無関係ではないことが明らかになっています。 この事業は、メディア環境の変化に流されない子どもの育成に向けて、保護者や教師、地域の大人の意識を啓発して対応するために、子ども達のメディア接触の実態、および心身の発達との関連を明らかにし、脱“メディア漬け”と子どもの基礎的な力を育むためのプログラムを作成します。	
選定理由	現代の重要なメディア課題に対する事業であると評価します。実態調査からプログラム作成、人材養成、啓発活動まで、共働による成果を引きださうる事業であり、特にプログラムづくりや人材育成について重要度を高めて、担当課と工夫されることを期待します。	

## 3

事業名	今を生きる一ひきこもり者と共に (社会参加支援事業)	テーマ：健康福祉・ ライフスタイル
提案団体	特定非営利活動法人JACFA 福岡「楠の会」	
市担当課	保健福祉局保健医療部精神保健福祉センター	
事業概要	<p>福岡市内には、約4000世帯がひきこもり当事者を抱えていると予測される現状の中で、ひきこもり者を取り巻く環境の整備を当事者・家族・支援団体・行政と共にはかり、支援活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態の把握(アンケート調査)</li> <li>・保護者・当事者のための学習会事業、啓発講演会の実施</li> <li>・ひきこもり者家族と支援者ネットワークの構築(ネットワーク会議)</li> </ul>	
選定理由	<p>現代社会の大きな課題解決のための取り組みとして評価します。社会的に非常に難しい課題であり、共働の意義は高いと判断します。関係団体でジョイントを組んで事業提案をされ、実施能力の不安を解消されたことに熱意を感じ、両者のコラボレーションによる効果を期待します。</p>	

## 4

事業名	ワーク・ライフ・バランス実践セミナー (企業向け)	テーマ：健康福祉・ ライフスタイル
提案団体	特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所	
市担当課	市民局男女共同参画部男女共同参画課	
事業概要	<p>男女共同参画社会の実現に不可欠な企業のワーク・ライフ・バランス(WLB)を推進するために、企業(経営者・人事労務担当者・その他従業員)の意識啓発を図ります。</p> <p>企業にとって、WLBの推進が、経営上有効な手段であることを認識し、WLB実践に積極的な関心を持てるような、個別性が高く、事業主が「お得意感」を抱くことができる提案型のセミナーを企業に出向いて実施します。</p>	
選定理由	<p>ワーク・ライフ・バランスは重要な取り組みであり、事業計画も明確で評価できます。提案型の出張セミナーのプログラム作成や市主催のセミナーとの連携についてもよく練りこまれており、参加収入を見込まれている点でさらなる効果を期待します。</p>	

5

事業名	かなたけの里公園を拠点としたまちづくり	テーマ：環境共生の まちづくり
提案団体	特定非営利活動法人まちづくり支援機構 特定非営利活動法人環境文化プロジェクト機構	
市担当課	住宅都市局公園緑地部公園計画課	
事業概要	<p>「かなたけの里公園」は、自然と営農環境が守られてきた金武地域の特徴を活かし、市民が自然・里山・農業と直接ふれあえる体験型レクリエーション、リフレッシュの場を創出する場として計画が進められています。地域住民自らが公園をまちづくり活動の核施設としてハードとソフトの両面において活用し、金武地域の振興・活性化に役立てていくための「体制づくり」、あるいは金武校区の「まちづくり」のための地域のPR活動を考える「ワークショップ」の開催などを支援し、公園を中心とした周辺地域の活性化に地域とともに取り組んでいきます。</p>	
選定理由	<p>NPOが、市と地域の間に入って、公園のあり方から計画、管理運営まで一貫してサポートしていく意欲的な取り組みであり、まちづくりのモデルになると評価できます。NPOの熱意とこれまでの実践を十分に活かし、有意義な共働事業になるよう期待します。</p>	

6

事業名	志賀島歴史と自然のルートづくり事業	テーマ：環境共生の まちづくり
提案団体	特定非営利活動法人グリーンシティ福岡	
市担当課	東区企画課 総務企画局企画調整部	
事業概要	<p>志賀島は様々な歴史・文化的な魅力や独特な自然景観を持った魅力的な地域ですが、島内のアクセス道路やウォーキングコース、展望台周辺の樹林地管理が十分にされておらず、観光バスが通りにくい、場所がわかりにくいといった課題も見られます。</p> <p>造園・里山保全に関する専門家と地元を中心としたボランティアとの共働作業による樹林地管理、および既存サイン・マップの現況調査を行い、地元グループと連携した歴史的・文化的資源の魅力向上を図るとともに、平成19年の「志賀島活性化構想」における基本方針に則り、将来的な交流人口の増加や地域の活性化、さらに、地元住民の「地域の誇り」や「来訪者を迎えるマインド」の醸成を図ります。</p>	
選定理由	<p>志賀島活性化構想を踏まえた具体性の高い提案として評価できます。民有地を対象とし、地元をまきこんだ事業として共働の効果が期待できます。志賀島全体での歩行や交通ネットワークを活用した段階的な案内サイン計画により、さらなる活性化事業につながることを期待します。</p>	

事業名	海外エイジング視察コーディネート事業	テーマ：シティプロモーション
提案団体	特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター	
市担当課	保健福祉局総務部計画課	
事業概要	<p>世界で最も高齢化（エイジング）が進んだ国である日本に対し、今後急速に高齢化を迎えるアジアの諸国からの関心が高まっています。</p> <p>この事業は、福岡市内の高齢者施設等への視察を希望する海外の人々に対し、適切な資料の提供、施設の紹介、通訳者の手配などのコーディネートを一元的に行うことによって、視察者の来福目的がスムーズに達成でき、エイジングについて学べる国際都市として、福岡市の知名度の向上や、国際交流の推進、集客交流の拡大を図ることを目的として実施するものです。</p>	
選定理由	<p>具体性の高い事業として評価できます。また、福祉専門家を有し、実行力のある提案であり、将来のビジネス化など、自立に向けて取り組める事業であると考えます。アジア戦略の具体化の1つのモデルとなる事業の実現に期待します。</p>	

（※提案団体と担当課の協議により、一部事業の名称が変更されています。）

なお、不登校児童生徒対策の提案『フリースペース事業「ココリーと」』については、教育委員会と協議すべき項目が多く、最終的な調整ができなかったため、審査委員会としては選定を見送ることにしましたが、不登校対策は重要な課題であり、今後とも両者の協議を続け、次年度以降の施策に反映されることを期待します。